



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 フジテック株式会社  
 コード番号 6406 URL <http://www.fujiitec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 内山 高一  
 (氏名) 加藤 義一

TEL 0749-30-7111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	38,499	11.5	3,231	19.6	3,751	32.8	2,567	75.3
27年3月期第1四半期	34,531	23.6	2,701	125.9	2,825	74.8	1,464	54.6

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 2,615百万円 (383.2%) 27年3月期第1四半期 541百万円 (△89.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	31.73	31.70
27年3月期第1四半期	15.80	15.79

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	174,598	98,537	49.8
27年3月期	179,856	104,620	51.9

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 86,925百万円 27年3月期 93,321百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		15.00	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	80,000	8.1	6,000	13.7	6,500	10.1	4,000	20.0	49.44
通期	175,000	5.9	15,000	11.2	16,000	7.9	9,000	7.7	111.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	93,767,317 株	27年3月期	93,767,317 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	13,415,590 株	27年3月期	6,941,786 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	80,912,270 株	27年3月期1Q	92,699,459 株

(注)自己株式数には、当連結会計期間末に従業員持株会支援信託ESOPとして保有する当社株式709,300株を含めて表示しています。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了し、平成27年8月7日付でレビュー報告書を受領しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(金額単位：百万円未満切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (2014年4月1日～ 2014年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (2015年4月1日～ 2015年6月30日)	前年同四半期比 (%)
売上高	34,531	38,499	11.5
国内	12,474	13,805	10.7
海外	22,056	24,693	12.0
営業利益	2,701	3,231	19.6
経常利益	2,825	3,751	32.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,464	2,567	75.3
1株当たり四半期純利益	15.80円	31.73円	—

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、中国の景気拡大ペースが鈍化し、韓国、台湾やアセアン地域でも、景気の伸びは緩やかなものとなりました。北米では、個人消費の増加や好調な雇用情勢から、景気は順調に拡大しました。欧州では、ギリシャ情勢により混乱はあるものの、回復基調が継続しました。日本では、雇用情勢の改善や個人所得の増加などで、景気は緩やかに回復しました。

昇降機業界におきましては、中国では、大都市で不動産市場に回復の兆しがみられるものの、需要全体では前年同四半期並みとなりました。他のアジア地域の需要は総じて伸び悩みましたが、北米では堅調に推移しました。日本では、マンション販売が近畿圏で増加するなど持ち直しつつありますが、建築費上昇により、中小規模の開発計画を先送りする動きもみられました。

このような情勢のもと、当第1四半期連結累計期間の国内市場は、既設エレベータの安全性・快適性を高めるモダニゼーション事業では、主力商品の「制御盤交換パッケージ」や適用機種を拡大した「安全向上パッケージ」の拡販に努めました。新設事業では、マンション向けエレベータの受注は堅調に推移しましたが、店舗やオフィス向けエレベータ、エスカレータの需要動向に伴い、国内受注高は、前年同四半期比17.0%減の167億42百万円となりました。

海外市場においては、南アジアで増加する一方、東アジアで減少し、海外受注高は227億62百万円（同4.4%増）となりました。なお、海外受注高は為替変動による影響を除くと、実質6.8%減となっています。

以上の結果、受注高合計は、395億4百万円（同5.9%減）となりました。

売上高は、国内売上高138億5百万円（前年同四半期比10.7%増）、海外売上高246億93百万円（同12.0%増）となり、合計で384億99百万円（同11.5%増）となりました。なお、海外売上高は為替変動による影響を除くと、実質0.5%減となっています。

受注残高は、国内受注残高507億34百万円（前連結会計年度末比6.2%増）、海外受注残高1,307億37百万円（同9.9%増）となり、合計で1,814億72百万円（同8.8%増）となりました。なお、海外受注残高は為替変動による影響を除くと、実質1.4%減となっています。

損益面では、営業利益は主に日本での増益により32億31百万円（前年同四半期比19.6%増）、経常利益は為替差益により37億51百万円（同32.8%増）となりました。税金等調整前四半期純利益は、37億13百万円（同31.8%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億67百万円（同75.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(金額単位：百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益または営業損失		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同四半 期比 (%)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同四半 期比増減額
日 本	13,537	14,883	9.9	923	1,350	427
北 米	3,728	5,300	42.2	△297	△181	115
欧 州	185	120	△34.8	△1	△7	△5
南アジア	3,676	4,812	30.9	508	707	199
東アジア	16,177	16,433	1.6	1,528	1,317	△211
小 計	37,304	41,551	11.4	2,660	3,186	526
調 整 額	△2,773	△3,052	—	41	44	3
合 計	34,531	38,499	11.5	2,701	3,231	530

(日 本)

売上高は、新設工事、モダンゼーション工事ともに増加し、148億83百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。営業利益は、労働力不足や円安などによるコスト上昇に対し、販売価格の改善により、13億50百万円（同4億27百万円増）となりました。

(北 米)

売上高は、新設工事の増加により、53億円（前年同四半期比42.2%増）となりました。営業損失は、据付コストの改善などにより、前年同四半期比1億15百万円改善の1億81百万円の営業損失となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質26.9%増となりました。

(欧 州)

売上高は、エスカレータ販売の減少により、1億20百万円（前年同四半期比34.8%減）となり、7百万円の営業損失（前年同四半期 営業損失1百万円）となりました。

(南アジア)

売上高は、修理工事をはじめとしたアフターマーケット事業で増加し、48億12百万円（前年同四半期比30.9%増）となりました。営業利益は、売上の増加により、7億7百万円（同1億99百万円増）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質20.0%増となりました。

(東アジア)

売上高は、164億33百万円と前年同四半期比で1.6%増となりましたが、為替変動による影響を除くと中国での減少により、実質11.0%減となりました。営業利益は、競争激化により採算性が低下し、13億17百万円（同2億11百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産額は、1,745億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億58百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が減少したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億24百万円増加し、760億60百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金および電子記録債務の減少に対し、短期借入金や退職給付に係る負債が増加したことによります。

純資産額は、985億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ60億82百万円減少しました。これは主に、利益剰余金の増加15億16百万円に対して、自己株式を76億66百万円取得したことによります。また、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は49.8%（前連結会計年度末比2.1ポイント減）となり、1株当たり純資産額は1,081.81円（同6.99円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2016年3月期 第2四半期（累計）（2015年4月1日～2015年9月30日）および2016年3月期（2015年4月1日～2016年3月31日）の連結業績予想につきましては、2015年5月13日に公表した予想を修正しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	51,674	44,814
受取手形及び売掛金	53,184	50,563
商品及び製品	6,333	8,056
仕掛品	6,403	6,558
原材料及び貯蔵品	7,817	8,845
その他	8,167	8,729
貸倒引当金	△1,445	△1,508
流動資産合計	132,134	126,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,446	18,217
機械装置及び運搬具（純額）	2,677	2,897
工具、器具及び備品（純額）	1,953	1,967
土地	6,948	6,946
建設仮勘定	2,859	3,386
有形固定資産合計	32,885	33,416
無形固定資産		
のれん	685	642
その他	3,626	3,610
無形固定資産合計	4,311	4,253
投資その他の資産		
投資有価証券	7,977	8,269
長期貸付金	14	15
その他	2,662	2,740
貸倒引当金	△130	△155
投資その他の資産合計	10,524	10,869
固定資産合計	47,722	48,539
資産合計	179,856	174,598

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,247	13,782
電子記録債務	5,281	4,682
短期借入金	7,911	10,625
1年内返済予定の長期借入金	352	358
未払法人税等	1,706	1,433
賞与引当金	3,241	3,373
工事損失引当金	6,421	5,660
その他の引当金	378	352
前受金	22,533	23,206
その他	8,333	8,539
流動負債合計	71,406	72,013
固定負債		
長期借入金	1,379	1,385
退職給付に係る負債	1,103	1,242
その他	1,347	1,418
固定負債合計	3,829	4,046
負債合計	75,236	76,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,533	12,533
資本剰余金	14,565	14,565
利益剰余金	75,239	76,756
自己株式	△7,826	△15,474
株主資本合計	94,512	88,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,435	2,640
繰延ヘッジ損益	—	4
為替換算調整勘定	△3,540	△4,029
退職給付に係る調整累計額	△86	△72
その他の包括利益累計額合計	△1,191	△1,456
新株予約権	56	56
非支配株主持分	11,243	11,556
純資産合計	104,620	98,537
負債純資産合計	179,856	174,598



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2015年4月1日 至2015年6月30日)
売上高	34,531	38,499
売上原価	26,881	29,910
売上総利益	7,649	8,589
販売費及び一般管理費	4,947	5,357
営業利益	2,701	3,231
営業外収益		
受取利息	208	232
受取配当金	139	111
為替差益	—	136
その他	114	105
営業外収益合計	461	586
営業外費用		
支払利息	11	22
為替差損	296	—
貸倒引当金繰入額	—	23
その他	29	19
営業外費用合計	337	66
経常利益	2,825	3,751
特別利益		
固定資産売却益	0	5
特別利益合計	0	5
特別損失		
固定資産除売却損	8	9
退職特別加算金	—	33
特別損失合計	8	43
税金等調整前四半期純利益	2,816	3,713
法人税、住民税及び事業税	1,041	1,124
法人税等調整額	△144	△329
法人税等合計	897	795
四半期純利益	1,919	2,917
非支配株主に帰属する四半期純利益	455	350
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,464	2,567

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
四半期純利益	1,919	2,917
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	205
繰延ヘッジ損益	7	4
為替換算調整勘定	△1,451	△525
退職給付に係る調整額	27	13
その他の包括利益合計	△1,378	△302
四半期包括利益	541	2,615
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	363	2,301
非支配株主に係る四半期包括利益	177	313

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2015年4月8日の取締役会決議に基づき、自己株式6,491,400株(7,666百万円)の取得を行いました。この取得等により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が7,647百万円増加し、当第1四半期連結累計期間末において自己株式は15,474百万円となりました。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2014年4月1日至2014年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,487	3,723	184	3,676	14,459	34,531	—	34,531
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,049	4	0	—	1,718	2,773	△2,773	—
計	13,537	3,728	185	3,676	16,177	37,304	△2,773	34,531
セグメント利益又は損失(△)	923	△297	△1	508	1,528	2,660	41	2,701

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額41百万円には、セグメント間取引消去△13百万円およびたな卸資産の調整額54百万円が含まれています。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2015年4月1日至2015年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	13,821	5,287	119	4,812	14,459	38,499	—	38,499
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,062	13	1	0	1,974	3,052	△3,052	—
計	14,883	5,300	120	4,812	16,433	41,551	△3,052	38,499
セグメント利益又は損失(△)	1,350	△181	△7	707	1,317	3,186	44	3,231

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額44百万円には、セグメント間取引消去2百万円およびたな卸資産の調整額41百万円が含まれています。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。